

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月12日
【四半期会計期間】	第53期第1四半期（自平成26年7月1日 至平成26年9月30日）
【会社名】	レーザーテック株式会社
【英訳名】	Lasertec Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡林 理
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目10番地1
【電話番号】	(045)478-7111（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 内山 秀
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目10番地1
【電話番号】	(045)478-7111（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 内山 秀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第1四半期連結 累計期間	第53期 第1四半期連結 累計期間	第52期
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成26年 6月30日
売上高 (千円)	970,874	1,747,178	13,607,129
経常利益又は経常損失 () (千円)	511,252	132,131	3,161,380
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失 () (千円)	326,311	82,438	1,969,406
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	246,191	136,830	2,184,667
純資産額 (千円)	15,032,357	16,991,393	17,463,218
総資産額 (千円)	18,489,046	20,286,682	21,687,828
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失 () (円)	14.47	3.66	87.37
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	3.65	87.25
自己資本比率 (%)	81.1	83.6	80.4
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	569,120	1,840,345	3,909,516
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	18,369	14,592	83,937
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	717,479	608,985	1,720,198
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,664,211	3,688,317	6,120,176

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 第52期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在す
るものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成してあり
ます。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要
な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

1.業績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国で回復傾向が鮮明となってきたものの、欧州の景気低迷が長期化し、中国やその他新興国においても成長が鈍化するなど不透明な状況が続いております。

わが国経済は、企業部門で設備投資を中心に改善が見られるものの、消費増税後の個人消費の回復が遅れており、前年度から続いてきた景気回復のペースが鈍化する懸念が出てきております。

当社グループの主たる事業領域である半導体業界では、設備投資の牽引役であった大手ファウンドリの投資が、20nmノード向けから14/16nmノード向けに切り替わる端境期となり、低調に推移しました。

当社グループが参入しているその他の事業領域に関し、まずFPD業界では、スマートフォン用の高精細パネルの生産に用いられるフォトリソ向け設備投資が数年ぶりに復活してきました。太陽電池業界は、設備投資の抑制された状況が続きました。リチウムイオン電池業界は、着実な市場成長が継続しました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億47百万円（前年同期比80.0%増加）となりました。品目別に見ますと、半導体関連装置が97百万円（前年同期比80.8%減少）、その他が12億22百万円（前年同期比2442.0%増加）、サービスが4億27百万円（前年同期比2.9%増加）となりました。

連結損益につきましては、営業利益が86百万円（前年同期は営業損失5億8百万円）、経常利益が1億32百万円（前年同期は経常損失5億11百万円）、四半期純利益が82百万円（前年同期は四半期純損失3億26百万円）となりました。

2.財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は202億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億1百万円減少いたしました。これは主に、仕掛品が7億56百万円、受取手形及び売掛金が6億13百万円増加したものの、現金及び預金が24億29百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、当第1四半期連結会計期間末残高は32億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億29百万円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が1億80百万円増加したものの、未払法人税等が6億69百万円、支払手形及び買掛金が1億39百万円、役員賞与引当金が1億14百万円減少したことによるものであります。

株主資本にその他の包括利益累計額及び新株予約権を加えた純資産合計は169億91百万円となり、また自己資本比率は83.6%となりました。

3.キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ24億31百万円減少し、36億88百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、18億40百万円の支出（前年同期比223.4%増）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額8億11百万円、法人税等の支払額7億25百万円、売上債権の増加額5億75百万円などの支出要因が、賞与引当金の増加額1億80百万円、仕入債務の増加額1億62百万円、税金等調整前四半期純利益1億32百万円などの収入要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、14百万円の支出（前年同期比20.6%減）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出14百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、6億8百万円の支出（前年同期比15.1%減）となりました。これは主に、配当金の支払額6億8百万円によるものであります。

4. 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の当社グループの対処すべき重要な課題はありません。

5. 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は2億49百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	64,000,000
計	64,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	23,571,600	23,571,600	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	23,571,600	23,571,600	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成26年7月1日 ～平成26年9月30日	-	23,571,600	-	931,000	-	1,080,360

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日（平成26年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,028,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,539,900	225,399	-
単元未満株式	普通株式 2,900	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	23,571,600	-	-
総株主の議決権	-	225,399	-

(注)「完全議決権株式(自己株式等)」の欄は、すべて当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
レーザーテック 株式会社	神奈川県横浜市港北区 新横浜二丁目10番地1	1,028,800	-	1,028,800	4.36
計	-	1,028,800	-	1,028,800	4.36

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,190,316	3,760,977
受取手形及び売掛金	1,926,290	2,539,492
仕掛品	3,566,295	4,323,158
原材料及び貯蔵品	713,541	773,014
繰延税金資産	933,245	950,228
その他	980,376	590,970
貸倒引当金	6,226	2,866
流動資産合計	14,303,838	12,934,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,014,685	1,988,845
機械装置及び運搬具(純額)	12,039	11,056
工具、器具及び備品(純額)	216,192	206,848
リース資産(純額)	6,380	6,050
土地	4,254,773	4,254,773
建設仮勘定	8,014	8,509
有形固定資産合計	6,512,085	6,476,083
無形固定資産	591	594
投資その他の資産		
投資有価証券	531,718	543,710
長期未収入金	220,002	220,002
繰延税金資産	58,446	70,138
その他	61,375	41,406
貸倒引当金	228	228
投資その他の資産合計	871,313	875,028
固定資産合計	7,383,990	7,351,707
資産合計	21,687,828	20,286,682

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,796	516,291
未払法人税等	753,058	83,740
前受金	1,580,425	1,497,308
賞与引当金	-	180,321
役員賞与引当金	126,000	11,557
製品保証引当金	410,949	315,177
その他	471,049	451,758
流動負債合計	3,997,281	3,056,154
固定負債		
退職給付に係る負債	198,047	209,646
その他	29,281	29,488
固定負債合計	227,328	239,135
負債合計	4,224,609	3,295,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	931,000	931,000
資本剰余金	1,080,360	1,080,360
利益剰余金	16,267,648	15,741,430
自己株式	978,041	978,041
株主資本合計	17,300,966	16,774,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237,994	241,695
為替換算調整勘定	107,424	56,733
その他の包括利益累計額合計	130,569	184,961
新株予約権	31,682	31,682
純資産合計	17,463,218	16,991,393
負債純資産合計	21,687,828	20,286,682

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	970,874	1,747,178
売上原価	701,977	794,232
売上総利益	268,897	952,945
販売費及び一般管理費	777,703	866,076
営業利益又は営業損失()	508,806	86,869
営業外収益		
受取利息	499	404
為替差益	-	43,529
その他	1,862	2,045
営業外収益合計	2,361	45,980
営業外費用		
支払利息	3,251	668
為替差損	1,556	-
その他	-	49
営業外費用合計	4,807	717
経常利益又は経常損失()	511,252	132,131
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	511,252	132,131
法人税、住民税及び事業税	18,841	83,407
法人税等調整額	203,781	33,714
法人税等合計	184,940	49,693
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	326,311	82,438
四半期純利益又は四半期純損失()	326,311	82,438

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	326,311	82,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,174	3,700
為替換算調整勘定	13,945	50,691
その他の包括利益合計	80,119	54,392
四半期包括利益	246,191	136,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,191	136,830
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	511,252	132,131
減価償却費	52,058	50,407
貸倒引当金の増減額(は減少)	27,577	3,375
賞与引当金の増減額(は減少)	141,772	180,321
役員賞与引当金の増減額(は減少)	111,000	114,443
製品保証引当金の増減額(は減少)	44,849	94,653
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,260	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	11,361
受取利息及び受取配当金	499	404
支払利息	3,251	668
為替差損益(は益)	5,460	25,614
売上債権の増減額(は増加)	944,658	575,596
たな卸資産の増減額(は増加)	550,530	811,012
未収入金の増減額(は増加)	4	681
仕入債務の増減額(は減少)	252,372	162,354
前受金の増減額(は減少)	430,406	84,670
その他	213,403	58,022
小計	136,133	1,115,183
利息及び配当金の受取額	469	703
利息の支払額	3,283	668
法人税等の支払額	430,172	725,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	569,120	1,840,345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	18,133	14,592
その他	236	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,369	14,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	176,500	-
配当金の支払額	540,979	608,655
その他	-	330
財務活動によるキャッシュ・フロー	717,479	608,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,578	32,064
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,303,390	2,431,858
現金及び現金同等物の期首残高	3,967,601	6,120,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,664,211	3,688,317

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

長期未収入金

(1) 長期未収入金の概要

横浜市企業立地等促進特定地域における支援措置に関する条例第10条及び第11条に基づき、平成20年12月12日に報告した確定投下資本額について、平成21年1月15日に認定を受けた助成金の交付額の総額732,566千円を10年間に分割して交付されることになりました。当第1四半期連結会計期間未までに受領済の交付金7回分512,564千円を除いた残額220,002千円を長期未収入金として計上しております。

なお、各年の助成金交付額は毎年当社の申請により横浜市の予算状況により決定されるものであります。

(2) 認定の内容

認定の年月日及び番号

平成21年1月15日経観誘国第407号

認定された投下資本額 7,325,667千円

助成金の交付予定額 732,566千円

(3) 認定事業者の条件

横浜市企業立地等促進特定地域における支援措置に関する条例第13条により、認定事業者は、企業立地等に係る事業を開始した日から原則として10年を経過する日までの間、当該企業立地等に係る事業を継続しなければならないとされています。

(4) 当第1四半期連結会計期間末において当助成金の適用を受けて有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額

土地	400,000千円
建物及び構築物	324,566
機械装置及び運搬具	8,000
圧縮記帳額合計	<u>732,566</u>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	2,727,841千円	3,760,977千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	63,630	72,660
現金及び現金同等物	2,664,211	3,688,317

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月26日 定時株主総会	普通株式	540,979	48	平成25年6月30日	平成25年9月27日	利益剰余金

(注) 当社は、平成25年5月27日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。当該株式分割は平成25年7月1日を効力発生日としておりますので、平成25年6月30日を基準日とする配当につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年9月26日 定時株主総会	普通株式	608,655	27	平成26年6月30日	平成26年9月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

当社グループの事業は、検査・測定装置の設計、製造、販売を行う単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	14円47銭	3円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	326,311	82,438
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	326,311	82,438
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,540	22,542
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-	3円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	27
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月10日

レーザーテック株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 由水 雅人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大和田 貴之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているレーザーテック株式会社の平成26年7月1日から平成27年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、レーザーテック株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。